

Press Release

2026年2月2日

すべての産業の新たな姿を作る



オーダーメイド AI ソリューション
『カスタム AI』

株式会社 Laboro.AI

Laboro.AI、技術顧問に Aspire Analytics 社 CEO 須山敦志氏が就任

株式会社 Laboro.AI

代表取締役 CEO 椎橋徹夫・代表取締役 CTO 藤原弘将

オーダーメイドによる AI・人工知能ソリューション『カスタム AI』の開発・提供およびコンサルティング事業を展開する株式会社 Laboro.AI（ラボロエーアイ、東京都中央区、代表取締役 CEO 椎橋徹夫・代表取締役 CTO 藤原弘将。以下、当社）は、Aspire Analytics 合同会社 CEO の須山敦志氏（以下、須山氏）が、技術顧問に就任したことをお知らせいたします。機械学習分野における理論と実践の両面に精通した須山氏を招聘することで、当社は、先端の機械学習理論をクライアント企業様のビジネス成長に直結するカスタム AI 開発へと昇華させることに引き続き取り組んでまいります。

就任の背景

近年、生成 AI や AI エージェントをはじめとした技術的発展がますます進行し、AI はより自律性を身につけた技術としての活用に期待が集まっています。産業界においても AI 活用は単なる過去データの傾向を捉える「予測」のフェーズから、ビジネス上で最適なアクションを導き出す「意思決定支援」のフェーズへとシフトしています。

意思決定支援に向けた AI 活用においては、結論の導出過程における根拠を提示することが不可欠です。これを実現するには、事象の背後にある因果関係を解明する「因果推論」や、企業内に散在する膨大な情報を高度に検索・整理する「ナレッジグラフ^{※1}」の構築など、先端的な数学的理論とドメイン特有の複雑なビジネスロジックを、極めて高い次元で結合させる必要があります。

当社はこれまで、「すべての産業の新たな姿をつくる。」「テクノロジーとビジネスを、つなぐ。」をミッションに掲げ、既存業務の効率化に留まらず、新規製品・サービスの創出やビジネスモデルの根本的な変革など、新しいビジネス施策展開によってクライアント企業様の成長を図る『バリューアップ型 AI テーマ』を注力領域として取り組んでまいりました。上記のような AI による意思決定支援の高度化は、バリューアップに直結する非常に重要なテーマであると捉えており、機械学習分野に深く精通し、かつ事業現場で数々の社会実装をリードしてきた須山氏の知見が、当社カスタム AI 開発の高度化やビジネス実装の加速に極めて重要であるとの考え方から、今回の招聘に至りました。

※1 「ナレッジグラフ」とは、システムが保有する様々な知識の関係・つながりを、点（ノード）同士で結ぶ辺（エッジ）によって構造化した、グラフ構造によって表される知識ネットワークを指します。

今後の取り組み

須山氏は今後、以下をはじめとした各種活動に取り組む予定です。

<技術専門性向上と高度化>

ベイズ統計^{※2}や数理最適化^{※3}の知見を元にしたエンジニアリング部門への直接的な技術指導、および組織全体の技術専門性の底上げによる、当社カスタム AI 開発の高度化に向けた取り組み

<説明性向上に向けた研究開発>

知識グラフを用いた情報検索の高度化や、説明可能 AI (XAI) の研究、事象の背後にある因果関係の解明に向けた研究の推進など、根拠を持って最適な判断・実行を下す高度なカスタム AI の開発・提供に向けた取り組み

※2 「ベイズ統計」とは、確率計算に基づいてデータ分析を行う統計手法であり、機械学習などの AI 技術においては予測モデルの精度や解釈性の向上などに用いられます。

※3 「数理最適化」とは、特定の制約条件を満たした上で、値を最小あるいは最大化できる解を数学的なモデルや計算手法を用いて導出する技術であり、製造業などのスケジューリング（計画最適化）などで用いられます。

須山氏 プロフィール



須山 敦志 Atsushi Suyama

Aspire Analytics 合同会社 CEO

<知見／実績>

機械学習に関する知見：生成モデル、深層学習、ベイズ統計、数理最適化

データ分析に関する知見：需要予測、マーケティング分析、品質管理

事業に関する知見：新規事業開発や業務改革、組織開発に関する知見

講演実績：日本ロボット学会、IBIS workshop、Google Cloud Day、ほか

著書：『ベイズ推論による機械学習入門』（講談社）、『ベイズ深層学習』（講談社）、『マルコフ連鎖モンテカルロ法入門』（共著・東京図書）、ほか

＜プロフィール＞

2009年 東京工業大学（現・東京科学大学）情報工学科卒業

2011年 東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータサイエンス専攻卒業

2011年 ソニー株式会社に入社、R&D 部門にて AI の研究開発およびサービス開発に取り組む

2013年 ソニーでの新規事業開発をカーブアウトする形でインフォメティス株式会社の設立に携わる（2024年東証グロース上場）

2014年 イギリスにて研究ラボ Informetis Europe Ltd.の立ち上げに関与、ケンブリッジ大学との共同研究をリード

2017年 アクセンチュア株式会社に入社、数々の AI やデータ分析に関するプロジェクトに従事

2021年 アクセンチュアにて Data Science CoE を創設、エキスパートチームのリードを務める

2025年 Aspire Analytics 合同会社を設立、CEO に就任

参考情報

■株式会社 Laboro.AI 会社概要

会社名：株式会社 Laboro.AI（ラボロ エーアイ）

所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目 11-1

代表者：代表取締役 CEO 椎橋徹夫

代表取締役 COO 兼 CTO 藤原弘将

設立：2016年4月1日

事業内容：機械学習を活用したオーダーメイド型 AI『カスタム AI』の開発

カスタム AI 導入のためのコンサルティング

URL：<https://laboro.ai/>

株式会社 Laboro.AI は、オーダーメイドの AI ソリューション『カスタム AI』の開発・提供を事業とし、アカデミア（学術分野）で研究される先端の AI・機械学習技術をビジネスへつなぎ届け、すべての産業の新たな姿をつくることをミッションに掲げています。業界に隔たりなく様々な企業のコアビジネスの改革を支援しており、その専門性から支持を得る国内有数の AI スペシャリスト集団です。

以上

＜本リリースに関するお問い合わせ＞

株式会社 Laboro.AI マーケティング部 広報リーダー 東條英里

Mail : press@laboro.ai Tel : 03-6280-6564 (代表)